



室内は清潔感のある白が基調。光の反射で室内は照明がなくても明るく、ぬくもりのある床の木目を浮かび上がらせます。



窓の位置を変えるだけでカーテンいらずの間接照明に早変わり。においの気になるキッチン周りの換気もばっちりです。



壁を外壁と同じ左官仕上げにすることで、外から中へとつながる空間を演出。優しい木のぬくもりが室内へと導きます。



玄関の自然光は四季を味わう坪庭から、廊下の自然光は天窗のスカイライトから確保。温かい光が降り注ぎます。



2階ホール抱き子どもの笑いが響くほどの広々空間。採光も十分で、ブレイルームとしても活用できます。



外壁ともマッチした空洞レンガを採用。昼間は風を通し、視線をシャットアウト。夜はライティングでゴーヤスに。



玄関へのアプローチは家の顔。こちらでもひさしを大きく取り、奥様たちの井戸端会議の社交場にも心地よい回廊をつくります。



▲安定感のあるどっしりとした佇まい。重厚感のある伝統的な左官仕上げで、大きく迫り出したひさしがバランスを生みます。



◀リビングテラスから南の太陽光をたっぷりと室内に取り込み、採光を確保。全面Low-Eガラスで熱量も快適に調節します。

設計・監理
中道 哲也
【(株)スタジオパートナー】

施工
城山建設株式会社

建てようネット【和歌山】で建てた新築第48号!

地球と住む人のより良い未来のために「長期優良住宅」推進

西庄の家
Nisinoshonoie

新築工事スケジュール

〈基本設計期間〉 H23年3月～5月
〈実施設計期間〉 H23年6月～7月
〈見積もり依頼期間〉 H23年7月～8月
〈起工〉 H23年9月4日
〈上棟〉 H23年10月2日
〈完成・引渡し〉 H24年2月11日

住宅データ

家族構成／ご夫婦、お子さん1人

構造／木造

建築面積／
138.65㎡(約41.94坪)

延床面積／
1F 105.15㎡(約31.81坪)
2F 76.16㎡(約23.04坪)
計 181.31㎡(約54.85坪)

敷地面積／
406.85㎡(約123.07坪)

屋根／スレート葺、(一部)ガルバリウム鋼板立ハゼ葺

外壁／アクリル系微弾性塗料吹付カキオトシ

設計・監理

Tetsuyanakamichi
中道 哲也
株式会社スタジオパートナー
1963年生まれ。25歳のとき我流で建築事務所設立。その後共同でデザイン事務所設立。2003年現事務所に至る。一級建築士。

施工

SHIRO YAMA
城山建設株式会社

モットー／
建て主・施工者・設計者 三位一体

見るからに安定感のある佇まい。地に根を下ろした堅実さがあり、伝統的な外壁の左官仕上げに家庭的なぬくもりも感じます。国が定める一定の基準を満たした「長期優良住宅」です。将来を考えた建て主さんの思いもあり、長く快適に住まうためのデザインを取り入れました。より豊かで、優しい暮らしのために。紹介するのは、敏腕クリエイターたちを率いる「株式会社スタジオパートナー」の中道哲也さんが手掛ける「西庄の家」です。

そもそも長期優良住宅とは、住宅を長期にわたり使用することで環境への負荷や建て替えなどの費用を軽減し、より良い暮らしへの転換を図ろうと国が普及を促進した条例。認定には条件があり、「地震に強く倒壊しにくいこと」、「しっかりとした構造体で長く住めること」、「維持・管理が容易なこと」、「省エネルギーで地球にも家計にも優しいこと」、「地域の街並みと調和していること」などがあげられています。いずれも「これからの住まいに必要な嬉しい条件ばかり。認定を受けると、税制面での優遇や特別ローン、補助金などさまざまなメリットが活用できます。住まいづくりの大きな柱となる「デザイン」と、「構造」と、「コスト」のバランスを考えたシステムです。ほかにも、住宅を建てる際に利用できる国や地方自治体による制度はいろいろ。多少の手続きが必要ですが、それも含めて、「一緒に上り上げるのがデザインハウスのもつとる利点です」と、中道さんは話します。

外からの印象をそのまま室内へと薄いたデザインは、ホワイトとウッドのコントラストが美しい光あふれる空間。分譲地の2区画分をゆったりと使い、木のもつ優しさと強さで、家族みんなを温かく見守ります。「構造計算や省エネ対策は、安心して快適に住まうための基本原則。デザイナーはそれを、当然のものとして、建て主さんの夢をカタチに、デザインを施していきます。今回はご主人が構造体、奥様がデザイン、僕はコストパフォーマンスを担当させてもらいました笑」。注目は和室を含む1階のオールガス床暖房。乾燥しにくく、足元から部屋中どこでもあったか。断熱・遮熱性能の高いLow-Eガラスも省エネ効果が期待できます。「補助金の申請手続きといったいわゆる「面倒くさい」ところはすべてデザイナーにお任せください」と、中道さんの心強いお言葉。

家は長きにわたって住まうもの。コストも含め、知っているのと知らないのでは、暮らしがもっと大きく異なります。リビングでのくつろぎや四季を味わう坪庭など、家と共に変化する生活スタイルも、デザイン住宅ならではの楽しみ方です。